

第17回スーパーコンピューティング技術産業応用シンポジウム開催報告

スーパーコンピューティング技術産業応用シンポジウムは、コロナ禍の間は、リモートで開催されておりましたが、第17回目を迎える今回は、久々の対面とリモートのハイブリッド開催といたしました。今回のテーマは、「産業界のDXを支える最新のHPC/AI技術」で、2024年12月20日（金）に138名の方々にご参加頂き開催されました。

今回の参加者数は、例年に比べると残念ながらかなり後退してしまいました。これは開催時期が、例年に比べ10日程遅くなってしまったため、年末の慌たしさ等が影響したものではないか、と推測されます。

但し、参加された方々からは、内容的には時流に合ったテーマで、大変良かったとの評価を頂いております。また、久々の対面開催でしたので、シンポジウム後に講師の方々を囲んでの懇親会も開催され、その場においても名刺交換、情報交換ができた事は、大変良かったのではないかと、思われました。

《プログラム》

1. 主催者挨拶 産応協運営委員長
2. 来賓挨拶
 - ・文部科学省研究振興局（情報担当）付計算科学技術推進室長 栗原 潔氏
 - ・経済産業省商務情報政策局情報産業課デバイス・半導体戦略室企画官 小林 健氏
3. 【講演1】
安定・高忠実を両立する次世代の完全自動圧縮性流体ソルバ
FFVHC-ACE とデータ駆動科学の融合
東北大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻教授 河合宗司先生
4. 【講演2】
深層学習理論の進展と実応用への利活用
東京大学大学院情報理工学系研究科数理情報学専攻教授 鈴木大慈先生
5. 【講演3】
これからの計算工学・計算科学における活用と展開のあり方
立命館大学総合科学技術研究機構客員教授
産業技術総合研究所招聘研究員 佐々木直哉先生
6. 【講演4】
HEROZ の計算環境を利用したAIの社会実装
HEROZ 株式会社取締役CEO 井口圭一氏
7. 「富岳」・HPCIの利用制度と支援について
一般財団法人高度情報科学技術研究機構 斎藤 哲氏
8. 産応協活動報告 産応協企画委員長

以 上